

# 対話する力



地元の皆さんの「声」を聞かせていただくことが、政治活動の原点。県議就任以来、古賀市内全域で「対話集会」を継続的に開催し、夏祭りや敬老会、運動会、もちつきなどの地域行事をはじめ市内各地で開かれる様々なイベントも全力で回っています。「暮らしの現場の課題」を見出し、解決のための政策形成につなげています。

# 提案する力



議員の役割は、現場の「声」を知事・行政に届けること。議会における「質問」が最も重要な機会です。県議就任以来、全ての定例会本会議で質問に立ち、委員会でも活発に提案しています。医療・介護、教育・子育て、経済・観光、農業、防災、環境、インフラ、治安、国際交流、スポーツなど取り上げるテーマは県政全般にわたります。

# 実現する力



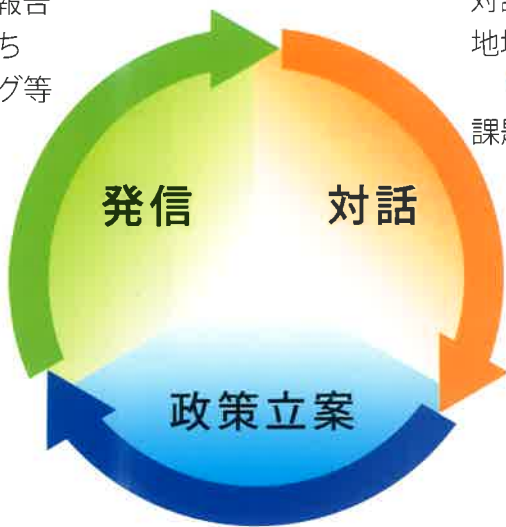
議会提案で知事・行政を動かし、政策を実現。地域の中で在宅介護をサポートする「宅老所」の支援策は、私の問題提起がきっかけとなり、福岡県に新たな政策が生まれました。防災対策でも幅広く指摘し、古賀市は県のモデル地域に何度も選ばれています。県議選での「選挙公報」の発行を提案・実現し、議会改革でも成果が上がっています。

## 古賀の皆さんとともに—「手元にある政治」の実践

基本理念 民主主義のサイクル

県政報告  
駅立ち  
ブログ等

対話集会  
地域回り  
課題の発見



議会質問・提起 ▶ 課題の解決

福岡県議会と知事・行政は、ともに県政を動かす「車の両輪」です。中でも、県議会議員は、県民の皆さんの「暮らしの現場の課題」について、県議会の本会議や委員会の場で知事らに質問・提案し、解決を促すとともに、既に取り組んでいる政策が適切かどうかチェックする役割があります。

私は 2011 年 4 月の県議就任以来、全ての定例会本会議で質問に立った数少ない議員の一人です。質問は、地元・古賀市をはじめ、県民の皆さんとの「対話」で見えた課題から生まれ、県政の前進、暮らしの充実につなげています。

特に、地域医療の前進、介護政策の強化、子育て支援の充実、子どもの学力・体力向上、若手農業者支援や農商工連携、中小企業の経営革新の推進、地域防災体制の確立、筑紫野古賀線や都市計画道路・中川熊鶴線をはじめとする道路建設、河川整備に力を注ぎ、幅広く取り組んできました。そして何より「県市連携」を図り、地域振興に努めています。

新聞やテレビで連日報道される国政、目の前の暮らしにより密接な市政と比べ、県政は「見えにくい」「遠い存在」と言われてきました。だからこそ、私はこの 4 年間、「対話」と「発信」で県政の「見える化」に努めてきました。

「手元にある政治」の実践—住民の皆さんにとって、さらに県政が身近に感じられるよう、全力で取り組みます。

福岡県議会議員 古賀市選出

たなべ

# 田辺かずき

## 対話で前進、福岡に全力!

あなたの「声」を政治に活かします。

# 県政刷新中!

田辺かずきで検索!

田辺かずき



34歳  
古賀出身